

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
上天草市	内野河内地区(内野河内集落)	令和4年1月27日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	2,385a	/耕地面積
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	1,908a	80%
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	610a	26%
i うち後継者未定又は不明の農業者の耕作面積の合計	328a	14%
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1,516a	64%
(備考)		

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地が多くある ・有害鳥獣(イノシシ)の被害 ・農業従事者及び後継者が少ない ・農業従事者の高齢化(離農) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備、給水設備の整備が必要 ・作物ごとに農地の集積を行う(農薬散布の際のドリフト解消) ・農業機械の共同化
--	--

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>認定農業者を中心とした中心経営体14経営体が担っていくほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。</p>
--

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状	今後の農地の引受けの意向
計	14経営体	1,516 a	1,516 a

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>○農地の貸付け等の意向 貸付けの意向が確認された農地は、92筆、105,951㎡となっている。</p>
<p>○農地中間管理機構の活用方針 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地中間管理機構を通じて貸付を進めていく。</p>
<p>○鳥獣被害防止対策の取組方針 多面的機能支払事業や市の補助等を活用し、鳥獣害対策(侵入防止策等の設置)や捕獲体制の構築等に取り組む。</p>
<p>○基盤整備事業の必要性 地区内の農地は水田が大多数を占めており、作物ごとに農地の集積を行うなかで、作物にあった基盤整備や排水設備の整備が必要。基盤整備を行い、耕作しやすい環境を整えることで他の地域からの入作者も期待できる。</p>